

推進テーマ

幼保小の架け橋プログラムの推進 ～はじめの一步～

〈みたけ台地区〉

学校法人宮田学園 三陽幼稚園・三陽保育園

学校法人原田学園 みたけ台幼稚園

社会福祉法人祥泉福社会 りんどう保育園

横浜市立みたけ台小学校

推進テーマ設定の理由

- 本校では、スタートカリキュラムなどを行っているが、職員の中で「1年生の担当が取り組むもの」という思いが強かった。改めて、学校全体で『幼保小架け橋プログラム』に取り組みたい。
- 生活科や総合的な学習の時間に関連させ、子ども自らが学びの主体となり、「自立する学習者」を育てる探究的な学びをつくる授業づくりや授業改善につなげたい。

推進内容

- 全職員が『幼保小の架け橋プログラム』の取組に参画すること
- 本校のスタートカリキュラムを構築すること
- 園との交流を復活させ、内容の改善を図ること

〈今年度の重点取組〉

- 幼児・児童の交流活動に関する事
- 教職員の連携に関する事

今年度の重点課題～今年度力を入れたこと～

三つの園と本事業への理解を共有すると共に、幼保小連携推進委員会を立ち上げて、各園と3年間の方向性を話し合ったこと

○事業内容と今後の交流について

一年目は次の項目を重点におく。

- ・ 幼児・児童の交流活動に関すること
- ・ 教職員の連携に関すること

→具体的には、

- ・ 交流活動を増やすこと（できれば年2回）
- ・ 小学校への授業参観（運動会含む）

→R7年度は、職員同士の研修（夏）や、子どもどうしの交流も取り入れていく。

スタートカリキュラム～協働的な学び～



一回目の交流会「秋とあそぼう」園と一年生の様子(11月)



「秋とあそぼう」で保育園の友達と交流しました。

一年生の教室に案内しますよ。





いらっしゃいませ。こうやって遊びますよ。



ゲームの説明をします。楽しんでくださいね。





手作りのおも
ちゃです。一緒
に楽しもうよ。



ええと。こう
やって、こうし
て。

二回目の交流会「教室紹介(新2年生)と学校たんけん(新6年生)」の様子(1月)



新2年生と新6年生が体育館で待っています。



まず、新2年生が教室へ案内しています。



ランドセルはロッカーに入れます。



一年生の教室です。席に座ってみてね。こんな学習をしているよ。



新2年生が、自分たちで説明をしています。



ここが給食室です。学校の給食はおいしいよ。



次は新6年生が学校を案内しますよ。





終わりの会。園児と新2年生新6年生が集まっています。



新6年生からメッセージカードのプレゼント。楽しい絵を入れました。また会おうね。

成果と課題

(成果)

- 園との交流を復活することができて、多いところは2回の交流が実現できたこと
- 新2年生と新6年生が園との交流会に参画し、児童が中心になって計画や運営などを行い、実施することができたこと

(課題)

- 本校職員への啓発→まだ学校全体化されていない傾向がある。研修を通して意識変革をしていく。
- 入学期のスタートカリキュラムの見直し→担当者を置き、組織として機能できる仕組みをつくっていく。
- 園との日程調整が難しい→年度初めに推進委員会を行い、話し合っていく。